

バランスのとれた乗り物って？

A1班

背景・目的

高齢者の車の運転による事故が増えている

→車以外で高齢者が安全に使うことができる乗り物を考える。

まとめ・展望

高齢者が安全に使える乗り物は、時速約10kmから20kmであり、車両内を保護する頑丈な車体や、緊急時に作動する、声や脈、カメラなどを使った安全装置が必要。将来的に判断力が衰えた方や、視力が弱まった方にも活用してもらいたい。

2. 調査

車いす



- 力がいらぬ
- 小回りが利く
- ×段差が危険。
- ×坂道などは力がある。
- ×荷物を持つことができない。

シニアカー



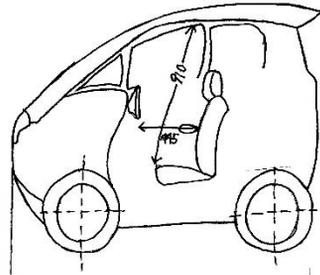
- 荷物を持てる
- 免許がいらぬ
- ×時速が6キロ以下
- ×屋根がない
→雨の日には使えない。
- ×事故の時の衝撃が大きい。

セグウェイ



- 操作が簡単
- ×安定感がない。
- ×乗る人に体力が必要。
- ×公道で走行できない。

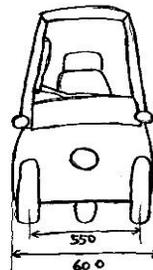
3. 結果・考察



動力：電気

幅 600mm
高さ 1335mm
長さ 1900mm

時速：約10キロ



安全性：危険時に、脈や声に反応して、緊急停止する。

参考文献

<https://movechair.jp/movechair/safety-risk.html>
<https://camphack.nap-camp.com/2262>

<https://whill.jp/column/mobilityscooter>